

ライター取り扱いに注意してください

髪に燃え移って重度のやけど

事例

ライターの火が髪の毛に燃え移って重度のやけどを負った。(2009年2月 千葉県)

原因

炎の調整リングが「高」の位置だったライターを顔の近くで使用したためです。



N I T E再現実験より

棚の中で勝手に発火

事例

棚に入れていたライターから発火した(2010年2月 埼玉県)

原因

棚の中で雑貨とともに収納していました。戸の開閉により雑貨と重なって着火レバーに力がかかって火が付いたものです。



ライターは使用時、収納時ともに気をつけてください。引き出し等でも思わぬ力がかかり、火が付くことがあります。また、子どもの手の届くところに置かないでください。直射日光や高温になる所に放置すると破裂するおそれがあります。

9月27日からライターの販売規制が始まりました

いわゆる使い捨てライターや多目的ライターは、チャイルドレジスタンス機能を有し、PSCマークが付いていなければ販売できません。PSCマークの付いていないライターは販売禁止です。



不要なライターは、ガス抜きをして自治体のルールに従って廃棄してください

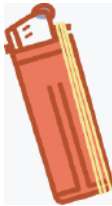
①火気のない風通しの良い屋外で行う。

②操作レバーを押し下げて火が付いた場合は吹き消す。

③輪ゴムや粘着力の強いテープで、レバーを押し下げたまま固定。

④「シュー」というガス音を確認する。

⑤その状態で着火操作をしても、火が付かなくなるまで半日から1日置く。



テーブル板が跳ね上がってけが

事例

会議用のテーブルの手前側に手をついたら天板が跳ね上がって顔を強打し、前歯が折れた。(2008年11月 広島県)



原因

テーブルを転倒させた際に天板のロックピンが変形していました。ロックが掛かりにくい状態であったのに、確認せずに使用したため天板が跳ね上がったものです。



折り畳み式等のテーブルは、確実にロックを掛けてください。また、開閉時や移動時に転倒させないなど注意してください。製品の組み立てや調整は取扱説明書を確認して行ってください。

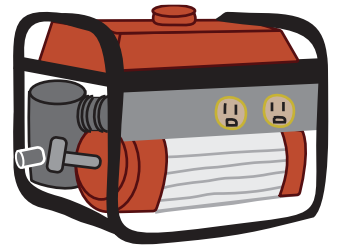
発電機で一酸化炭素中毒・死亡

事例

発電機を使用中、一酸化炭素中毒で3人が死亡した。(2010年11月 東京都)

原因

室内で使用したため、排気ガスがこもって一酸化炭素中毒になったものです。



発電機は屋外でも換気の悪いところでは絶対に使用しないでください。また、火気の近くで使用しないでください。取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

